

出張報告書

令和元年 11月27日

議長 米田 貴志 様

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 中井 良介

下記のとおり報告します。

記

1 目 的

「よくわかる市町村財政分析基礎講座」への参加

主催：NPO法人多摩住民自治研究所

2 出 張 先 都立多摩図書館

〒185-0024 東京都国分寺市泉町2-2-26

☎052-571-6131

3 出張期間 2019年11月12日（火）～13日（水）

4 出張者氏名 中井 良介 今口 千代子 岸田 厚

5 てん末報告

（別紙のとおり）

研修名 「よく分かる市町村財政分析基礎講座」

参加議員 中井良介 今口千代子 岸田厚

日 程 2019年10月11日（火）～12日（水）

場 所 都立多摩図書館

第1講 決算をいかに予算審議と連動させるかー誰でもできる財政分析

市が作成している「決算カード」と総務省に提出している「決算カード」から市の財政が経年的にどのような推移で増減になっているか分析の仕方がわかり、予算と連動させる。

第2講 市町村のふところは一歳入の仕組みを考える

- （1）一般財源と特定財源（収入の使途の拘束性があるか否か）
- （2）自主財源と依存財源

それぞれの細かい収入源の内訳を知る

第3講 議会・市民からみた税金の使われ方ー歳出の仕組みを考える

目的別歳出と性質別歳出の分析

経常的経費と投資的経費の分析

これらのこまかい分析によって市の財政状況を把握する

第4講 様々な「財政指標」の見方・読み方・使い方

交付税の算定となる根拠、市財政の根幹の収入である市税、決算カードを経年比較して、どのようなになっているのかを分析する。

- （1）地方分権一括法の施行によって機関委任事務が廃止（2000年4月）
- （2）夕張市の財政破綻（2007年4月）と同時に地方自治体財政健全化法の制定
- （3）情報技術の革新と高齢社会の地域

- (4) 総務省の「積極的」な情報開示（決算カード。類似団体比較カード「財政状況資料集」）など情報開示のステージのアップ

これら进行分析する力を身につける

第5講 類似団体比較カードと財政状況資料集イロハ

- (1) 財政運営の堅実性（収支の均衡の維持、「やりくり」を学ぶ）
- (2) 財政構造の弾力性
- (3) 住民ニーズに応え、行政水準の向上や満足度を確保する

以上の観点で財政運営を分析するとき、類似した条件にある団体の財政運営の実態を捉え、比べることで自らの財政運営の特徴点を容易に捉えることで極めて有効な手段。

類似団体の数値の背景にはどのような原因または努力があるのかを明らかにするとともに、類似団体との比較結果を例示することで当該団体の原因や財政指標の改善に向けた取り組み、さらに自治体の可能性が期待できる。

第6講 地方交付税制度の基礎の基礎～臨時財政対策債にも触れて

地方交付税の種類

- (1) 普通交付税・財源不足団体に対し交付
 - ・ 交付税総額の94%
- (2) 特別交付税・普通交付税で補足されない特別の財政需要に対して交付
 - ・ 交付税総額の6%

基準財政需要額の算定を元に国が基準財政収入額との差額を交付税で補填する事になっているが、算定そのものの計算の根拠を国がきめるため、本当に交付税措置がなされているか判りづらい。近年臨時財政対策債に振り分けられ、市の借金が増える原因にもなる。

第7講 わがまちの財政分析～市町村財政分析講座でできるようになること

以上のような指標を元に自分の町の財政を分析する力をみにつける